

自治研 お悩み相談室

今年から自治研担当になった初心者です。
自治研の『全国集会』があると聞きましたが
どんな集会でしょうか？

回答
自治研マイスター

自治研全国集会は、正式名称を「地方自治研究全国集会」と呼びます。全国各地市を開催地として、二年に一回、開かれています。おおむね二〇〇人以上の参加者が全国から集まる大規模な集会のひとつです。左ページにその三五回にもものぼる長い歩みを一覽表にまとめています。「地方財政の危機」や「市町村合併」、「地方分権」など、そのときどきの地方自治をめぐる大きな情勢を取り上げた全体集会和、各分野の分科会で構成されており、その内容は各県や各評議会代表で構成される自治研中央推進委員会で決定されています。

実際の集会には、組合員だけでなく自治体議員や研究者、近年ではNPO関係者なども参加しており、それぞれの立場から事例発表や意見交換などがなされます。個人的な話になり恐縮ですが、私もはじめて組合役員になった年に全国集会に参加し、全体集会でパネラーの皆さんと会場との間で、労働組合という立場・枠組みを超え自由闊達に意見が飛び交う様

子を見て大いに驚きました。帰郷後、自らの単組で仲間を募り自治研部を立ち上げ活動を始めて、今に至っています。近年、各自治体間で、同じ仕事をしているセクションが集まり、お互いの業務などについて話し合う機会が減っているように言われます。その意味で自治研全国集会は、日頃出会うことのないまちづくりのリーダーや全国の仲間とふれあい、直接話を聞くことができる貴重な機会となっています。さらに私のように自治研活動を始めるきっかけを掴んでもらうためにも、またとない場になっていると思います。

その意味で組合役員の皆さんにお願いがあります。ぜひ役員だけでなく、若い組合員の方を集会に誘って参加してください。百聞は一見に如かず！全国集会是各地の個性豊かな気候風土、街並みなどに触れることができるのも大きな魅力のひとつです。今回の自治研全国集会是、来年秋に宮城県仙台市を中心に行われる予定です。東日本大震災以降四年が過ぎた東北の地から、新たな学びの輪を広げていきましょう！

自治研全国集会の歩み

2016年10月14—15日●宮城県仙台市



- 第36回——2014年●佐賀市「毎日の仕事の、ちょっと先。さがしてみよう、わがまちの未来」
記念講演●嶋田暁文（九州大学大学院法学研究院准教授）
- 第34回——2012年●神戸市「つながり、支えあい、地域で創ろう私たちのまち」
記念講演●山崎亮（コミュニティデザイナー）
- 第33回——2010年●名古屋市「公共サービスの再生・改革は、地域と職場の『現場力』から」
講演に変わって参加者2100人による会場全体ディスカッション「いま私たちにできることは何か」
- 第32回——2009年●札幌市「出会いがはぐくむ『地域の公共の力』」
記念講演●小菅正夫（旭山動物園名誉園長）／特別講演●内山節（哲学者）
- 第31回——2006年●那覇市「美ら島（ちゅらしま）でかたらいひろげる共生の輪」
- 第30回——2004年●前橋市「小さな自治・地域の未来・みどりの風」
- 第29回——2002年●徳島市「水・緑・風が輝く地方の時代へ」
- 第28回——2000年●山形市「分権でえがこう21世紀のランドデザイン」
- 第27回——1998年●米子市「創ろう、市民自治のゆたかな社会」
- 第26回——1995年●長野市「分権、自治で市民の政府・日本の未来を拓け」
記念公演●宇沢弘文（東大名誉教授）
- 第25回——1993年●熊本市 全体集会「パネルディスカッション●九州からアジアを考える」
- 第24回——1991年●伊勢市 対談●高畑勲（映画監督）＋広松伝（柳川市職員）
- 第23回——1989年●函館市「いま、自立・共生の地域づくり」
- 第22回——1987年●横浜市「おんな・子ども・高齢者の時代のまちづくり」
- 第21回——1985年●大阪市「おんな・子ども・高齢者の時代のまちづくり」
記念講演●奈良本辰也（歴史学者）
- 第20回——1983年●宇都宮市「政治の反動化・軍国主義化に抗し、住民自治の確保によるいのちとくらしを守るまちづくりにとりくもう」
「財界主導の臨調改革と対決し、職場・地域から行革・地域生活闘争を進めよう」
- 第19回——1981年●金沢市「職場自治研・地域自治研を強化し、地域の労働者・住民との共同作業による自治体改革をめざそう」
- 第18回——1979年●宮崎市「地方財政危機を打開し、住民共闘を発展させ民主的な自治体改革をめざす」
「職場の民主化をはかり、職場自治研を発展強化し、民主自治を確立します」
- 第17回——1977年●松江市「地方自治体の危機を克服するために、どのように住民共闘を発展させるか」

自治研全国集会 スタート

- 第1回——1957年●甲府市
- 第2回——1958年●下関市
- 第3回——1959年●長野市
- 第4回——1960年●新潟市
- 第5回——1961年●静岡市
- 第6回——1962年●大津市
- 第7回——1963年●鹿児島市
- 第8回——1965年●徳島市
- 第9回——1966年●福島市
- 第10回——1967年●広島市
- 第11回——1968年●青森市
- 第11回——1969年●富山市
- 第11回——1970年●東京都
- 第14回——1971年●別府市
- 第15回——1973年●福岡市
- 第16回——1975年●水戸市